

共同礼拝

2023年4月23日(日) 午前10時30分

午後3時

司式 牧師 高橋和人

前 奏

招 詞 詩編 19編2～5節

讃 詠 546

主の祈り

聖 書

詩 編 96編1～3節 (旧934)

使徒言行録 1章6～11節 (新213)

祈 禱

使徒信条

讃 美 歌 54 (1, 2)

説 教 「主イエスの昇天の恵み」

牧師 姜 徑米

祈 禱

讃 美 歌 519 (1, 3)

献 金

頌 栄 542

祝 禱

後 奏

起立が困難な時は着席のまま礼拝します。

4月の祈り

主の十字架の死と復活によってもたらされた、罪からの救いに与っている恵みを再確認し、信仰にふさわしく、祈りと忍耐と希望を持って歩むことができるように。

戦火と天災によって困難と悲しみを負っている人々に、主のみ手が伸べられ、癒しと慰めが与えられるように。

教会と幼稚園の新年度の歩みが祝され、力づけられるように。

今日の祈り

教会が天にある復活の主の地上の体である自覚を深め、主の御心を求め、それに従い奉仕することができるように。

愛する者を主にゆだね、なお悲しみにある人々に復活の命の希望と慰めが与えられるように。

教会総会が導かれ、昨年度の歩みにある恩寵を回顧し、新たな歩みに導きと希望が与えられるように。

祈りによって結ばれて一つの教会として形成されるように。

「主イエスの召天の恵み」 姜 徑米

使徒言行録 1:6～11

「昇天」という言葉は日本語で、死ぬことを意味する言葉と用いられることがあります。しかし主イエスの昇天はそれとは違う意味です。主イエスの昇天は、復活した主イエスが、体をもって復活し、死ぬことのない新しい命を生きておられ、その生きた体のままで天に昇られたということです。

復活された主イエスは、今は、この地上ではなく、天におられ、神様の右の座に着いておられる、

それが主イエスの昇天なのです。

弟子たちは主イエスの復活によって、神の民イスラエルの王国が確立し、主イエスとその王となって下さるものと思っていました。しかし主イエスがお示しになったのは、そのようなイスラエルの王国の建設ではなく、主イエスのことを宣べ伝える証人、証し人の群れの成立だったのです。それは、教会の成立です。

使徒たちがこの主イエスのお言葉の通りに、聖霊によって力を与えられ、キリストの証人となり、ユダヤとサマリアの全土に、そして地の果てにまで主イエス・キリストの福音を宣べ伝えていった、そのことを使徒言行録は語っているのです。

天に昇られた主イエスは、またおいでになる方です。まことの神としての力とをもって、主イエスが天から再び降って来られる日がいつか来るのです。その時、今は隠されている神様のご支配があらわになり、完成するのです。

教会の歩みは、主イエスが天に上げられてからまたおいでになるまでの、昇天と再臨の間の歩みです。この間の時、私たちは、聖霊のお働きを受けて歩みます。昇天と再臨の間の時代を、聖霊の導きによって歩むのが教会です。その教会に連なって生きる私たちは、目には見えないけれど、しかし復活して永遠の命を生きておられる主イエス・キリストと共に生きることができます。

復活された主イエスの証人として、主イエスのことを証しし、宣べ伝えていく力を与えられます。そしてその主イエスがいつかもう一度、目に見えるお姿で来られ、そのご支配があらわになり、私たちの救いが完成することに希望を置いて歩むことができるのです。